



平成28年度 センターニュース



2017, No.30

室蘭工業大学
地域共同研究開発センター

— 目 次 —

挨拶と地域連携活動の報告	1
地域共同研究開発センター長 河合 秀樹	
新任のご挨拶	2
地域共同研究開発センター 准教授 柴田 義光	
1. 産学連携体制(平成28年度)	3
2. 事業実績	4
3. 事業活動	7
4. 地域共同研究開発センター研究協力会	
役員名簿	21
加入企業	22
5. 資料	
新聞記事	30

表紙写真

上左：道内電気計装エンジニアリング研修会（8月25日）（14頁）

上右：合同研究会（7月8日）（14頁）

下左：北洋銀行ものづくりテクノフェア2016（7月21日）（18頁）

下右：胆振次世代革新塾（9月15日）（11頁）

挨拶と地域連携活動の報告

地域共同研究開発センター長

河合 秀樹

平成 29 年 3 月で CRD センター長を仰せつかり 1 年が経ちました。人事関連の大きな動きとして、平成 28 年 10 月に柴田准教授が赴任され、新たなステップが始まりました。柴田先生は金属の腐食・防食の専門家で、前職苫小牧テクノセンターでは X 線 CT を導入され、苫小牧で急成長している自動車部品産業の後方支援に大きく貢献されるなど、地域連携や技術指導に腐心して来られました。この実績の上には、今後本学と室蘭や苫小牧地区における、より広域的な地域産業との連携に大きな力を発揮されるものと期待されます。苫小牧市(苫テク)や苫小牧高専などの教育機関とは、本学が推進する「文部科学省、地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」とも密接に関係しており、産学官金との連絡を密にしながら、教育と研究のスパイラルが一層進められるものと思われます。また、CRD の金属腐食防食相談室についても、長年その相談を一手に担ってこられた世利教授の後任として柴田先生が引き継がれることとなり、鉄・非鉄を含めた共同研究や技術相談の可能性について精力的に展開されるものと思われます。

第三期中期計画における社会連携統括本部の再構築については、平成 29 年度に具体的な組織と運用形態が学長に答申されることとなりますが、基本的には CRD センターの運用をより強化する施策が中心となることは間違いありません。CRD の主業務としての、「共同研究・受託研究」を通して、将来のビジネスチャンスや大学発ベンチャー企業へと発展する支援体制の再構築と、更なる人材の投資が急務です。これより全学を鳥瞰し、そのシーズを発掘してニーズと結び付けられる観察力(目利き)の醸成が必要と思われます。また新たな共同研究先の開拓も大事ですが、これまで共同研究をして頂いた企業との関係を良好に保ちつつ、「如何に持続して行けるか」が、もっと大事になるのではないかと考えています。一回であれば、それなりに付き合ってもらえますが、企業サイド(特に地域産業)と大学サイドの目指す目標は必ずしも合致してはならず、温度差もあってトラブルに発展する危険性もあります。CRD の役割として、誠意を持ってこの調整、調停を行うことも、表には見えないところではありますが大事な業務だと思われます。ただ、それは「言うは易し」で、実際には難しい運用を強いられる場面が多く、やはり準備段階で、それぞれが魅力に感じられるオリジナリティをお互い尊重し、確認し合うことが大事ですし、当事者だけでなく官公庁等自治体や金融機関にもその魅力を伝えることができる俯瞰的な「仕掛けづくり」も重要と思う次第です。

更には CRD が主体となって展開できる「共同研究」の支援体制も大事で、前述の「腐食防食相談室」によるシーズとニーズのマッチングや、清水副センター長(理事補:連携チーム)による「シップリサイクル」、「鋳物シンジケート」関連の新たなビジネスモデルの構築など、本学の特色の一つである「ものづくり」領域の研究をより充実させて行きたいと考えています。

外部との連携を強化するいろんな仕組みを作って行き、地域社会からも魅力ある大学、魅力ある共同研究となるよう、今後も努力する所存です。どうか皆様のご支援、ご指導を引き続き賜りますよう、お願い申し上げます。

新任のご挨拶

地域共同研究開発センター・准教授

柴田 義光

平成 28 年 10 月 1 日付けで、地域共同センターに着任致しました。

これからの地域共同研究開発センターに求められる役割は、道央・胆振地域、更には北海道に所在する様々な分野の企業に、大学の研究成果を活用して戴く上での橋渡し役と考えています。

地域企業の抱えている技術課題を学内の研究課題にブラッシュアップし、その研究成果を地域企業にフィードバックすることで、国内他地域、さらに世界と勝負できるコスト・技術競争力を育てたいと考えています。

日本国内の地方大学の中には、素型材製造の生産技術分野に特化した強みを持ち、それを元にして地元産業を活性化している事例もあります。これらの先駆的な取り組みをしている大学を目標として、素型材や部品加工に関わる企業が集積している胆振地区で、産学官金連携の取り組みを通じて研究シーズを探索し、他地域との優位性を示す活動も進めて行いたいと考えています。

これまで民間企業 2 社を経て、公設試で 19 年間地域の素型材産業の生産技術に関わる技術支援業務を行ってきた中で、次の 3 点を心がけてきました。

- ・親身になって考え、困ったら第一番目に相談して貰える関係を作ること
- ・難しい学術用語を用いずに、実際の「モノ」を見ながら、問題の本質が何かを平易な言葉で説明すること
- ・企業の若手技術者にとって、頼りになる相談相手になること

企業にとっては、大学には中々気軽に相談しにくいところは否めないと思います。この垣根を取り払うには、自ら技術相談の対応や平易な分析等を積極的に実施することも重要と考えています。また、企業は外部支援機関に対して、自社の若手人材の技術レベルを高めてくれる教育機関としての役割も期待しています。この点についても積極的に対応したいと考えています。

また、ものづくり企業へ大多数が就職する本学の学生に対する教育で、私が最も重視したいのは、コミュニケーション・プレゼンテーション能力です。

卒業後は、課題を認識して解決する方策を、自らの知識だけで無く、外部から情報を取得しながら設定して進めていく必要があります。この能力を確実に身につけてもらうために、プロジェクト型学習を活用したいと考えています。例えば、企業で抱える未解決の問題を学生と一緒に考え、対話しながら進めるようなインターンシップの取り組みにより、この能力向上がはかれると考えております。

地域企業や関係自治体・団体との連携により、以上の取り組みを少しずつ実行していく所存です。これからもご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 産学連携体制(平成28年度)

【センター長】

河合 秀樹 (もの創造系領域 教授)

【副センター長】

清水 一道 (もの創造系領域 教授)(平成28年4月1日から)

【准教授】

柴田 義光 (もの創造系領域 准教授)(平成28年10月1日から)

【技術補佐員】

高橋 美香

【コーディネーター】

太田 一夫 (専任)

石坂 淳二 (学外協力員)

【兼任教員】(社会連携統括本部)

中津川 誠 暮らし環境系領域 教授

中野 博人 暮らし環境系領域 教授

青柳 学 もの創造系領域 教授

風間 俊治 もの創造系領域 教授

清水 一道 もの創造系領域 教授

【産学官連携支援室】

小笠原 光敏 (公財) 室蘭テクノセンター

【客員教授】

川瀬 良司 (株)構研エンジニアリング 常務取締役

三上 浩 三井住友建設(株) 技術開発センター

木口 昭二 近畿大学 理工学部 機械工学科 教授

山中 芳朗 (社)北海道食産業総合振興機構 フード特区機構 研究開発部 部長

関川 純人 室蘭市 経済部 産業振興課 課長

【客員准教授】

青木 正治 大阪大学 素粒子物理学実験研究グループ 准教授

【知的財産本部】

宮澤 邦夫 特任教授・統括マネージャー

高橋 正彦 知的財産コーディネーター(平成29年3月31日まで)

2. 事業実績(平成28年度)

2-1. 共同研究プロジェクト(客員教授プロジェクト研究)

※研究代表者

NO	研究題目	大学側研究組織	民間機関等研究組織
1	加速器材料としてのSiC/SiCの可能性の探索	※もの創造系領域 准教授 朴 峻秀 OASIS 機構長 香山 晃 もの創造系領域 准教授 岸本 弘立 もの創造系領域 助 教 中里 直史 OASIS 研究員 神田 千智 OASIS 研究員 早坂 大輔	大阪大学素粒子物理学 実験研究グループ 准教授 青木正治 高エネルギー加速器研究機構物質 構造科学研究所 ミュオン科学研究施設 技 士 牧村 俊介 (独)日本原子力研究開発機構 放 射線高度利用施設部 ビーム技術開発課 研究員 的場 史郎
2	積雪寒冷地域における道路構造物の高度化・長寿命化に関する研究	※くらし環境系領域 准教授 小室 雅人 講 師 栗橋 祐介	(株)構研エンジニアリング 常務取締役 川瀬 良司
3	有機繊維シートを用いた既設鋼構造物の補修・補強工法の開発に関する実験的研究	※くらし環境系領域 講 師 栗橋 祐介 准教授 小室 雅人	三井住友建設(株) 技術開発センター 三上 浩
4	大型建設機械バルブボディ用強度化厚肉鋳物の研究開発	もの創造系領域 教 授 清水 一道 ものづくり基盤センター 助 教 楠本 賢太	近畿大学理工学部 機械工学科 教 授 木口 昭二

2-2. 民間等との共同研究

NO	大学側研究代表者	件数	共同研究内容	件数
1	もの創造系領域 教授 清水 一道	8	22 もの創造系領域 講師 長船 康裕	2
2	もの環境系領域 准教授 成田 幸仁	11	23 しくみ情報系領域 教授 福田 永	1
3	もの創造系領域 教授 平井 伸治	5	24 しくみ情報系領域 教授 塩谷 浩之	1
4	くらし環境系領域 准教授 小室 雅人	4	25 しくみ情報系領域 准教授 倉重 健太郎	1
5	しくみ情報系領域 教授 板倉 賢一	3	26 くらし環境系領域 教授 大平 勇一	1
6	くらし環境系領域 講師 栗橋 祐介	3	27 くらし環境系領域 教授 木村 克俊	1
7	もの創造系領域 教授 岸本 弘立	3	28 くらし環境系領域 助教 馬渡 康輝	1
8	もの創造系領域 教授 相津 佳永	3	29 くらし環境系領域 教授 中津川 誠	1
9	もの創造系領域 教授 世利 修美	3	30 くらし環境系領域 准教授 有村 幹治	1
10	航空宇宙機システム研究センター 教授 東野 和幸	4	31 くらし環境系領域 准教授 上井 幸司	1
11	しくみ情報系領域 教授 岸上 順一	2	32 OASIS(環境・エネルギーシステム材料研究機構) 特任教授 香山 晃	1
12	しくみ情報系領域 教授 永野 宏治	2	33 くらし環境系領域 准教授 山中 真也	1
13	しくみ情報系領域 准教授 梶原 秀一	2	34 くらし環境系領域 助教 崔 亨吉	1
14	くらし環境系領域 教授 溝口 光男	2	35 くらし環境系領域 特任教授 宮澤 邦夫	1
15	くらし環境系領域 教授 濱 幸雄	2	36 もの創造系領域 教授 亀川 厚則	1
16	くらし環境系領域 教授 溝口 光男	2	37 もの創造系領域 教授 佐伯 功	1
17	くらし環境系領域 教授 濱 幸雄	2	38 もの創造系領域 教授 花島 直彦	1
18	くらし環境系領域 助教 永井 宏	2	39 OASIS(環境・エネルギーシステム材料研究機構) 准教授 朴 峻秀	2
19	もの創造系領域 教授 樋口 健	2	40 もの創造系領域 教授 上羽 正純	1
20	もの創造系領域 教授 風間 俊治	2	41 もの創造系領域 教授 今井 良二	1
21	もの創造系領域 准教授 境 昌宏	2		

42	もの創造系領域	教授	藤木 裕行	1	45	もの創造系領域	講師	松本 大樹	1
43	もの創造系領域	准教授	廣田 光智	1	46	もの創造系領域	助教	葛谷 俊博	1
44	もの創造系領域	准教授	溝端 一秀	1	47	もの創造系領域	助教	中田 大将	1

2-3. 民間機関等からの受託研究

NO	大学側研究代表者	件数	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1	OASIS(環境・エネルギーシステム材料研究機構) 特任教授 香山 晃	2	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2	暮らし環境系領域 准教授 徳楽 清孝	4	暮らし環境系領域 教授 上道 芳夫	暮らし環境系領域 教授 中野 博人	暮らし環境系領域 教授 木幡 行宏	もの創造系領域 教授 河合 秀樹	もの創造系領域 教授 世利 修美	もの創造系領域 教授 水上 雅人	もの創造系領域 教授 清水 一道	もの創造系領域 准教授 境 昌宏	もの創造系領域 講師 松本 大樹	もの創造系領域 助教 河内 邦夫
3	暮らし環境系領域 准教授 有村 幹治	3	もの創造系領域 教授 平井 伸治	もの創造系領域 教授 樋口 健	もの創造系領域 教授 吉田 英樹	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠
4	暮らし環境系領域 准教授 吉田 英樹	2	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠
5	暮らし環境系領域 教授 中津川 誠	2	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠
6	暮らし環境系領域 准教授 上井 幸司	2	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠
7	しくみ情報系領域 教授 塩谷 浩之	2	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠
8	しくみ情報系領域 教授 佐藤 孝紀	1	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠
9	暮らし環境系領域 教授 チャン ヨン Chol	1	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠	もの創造系領域 教授 中津川 誠

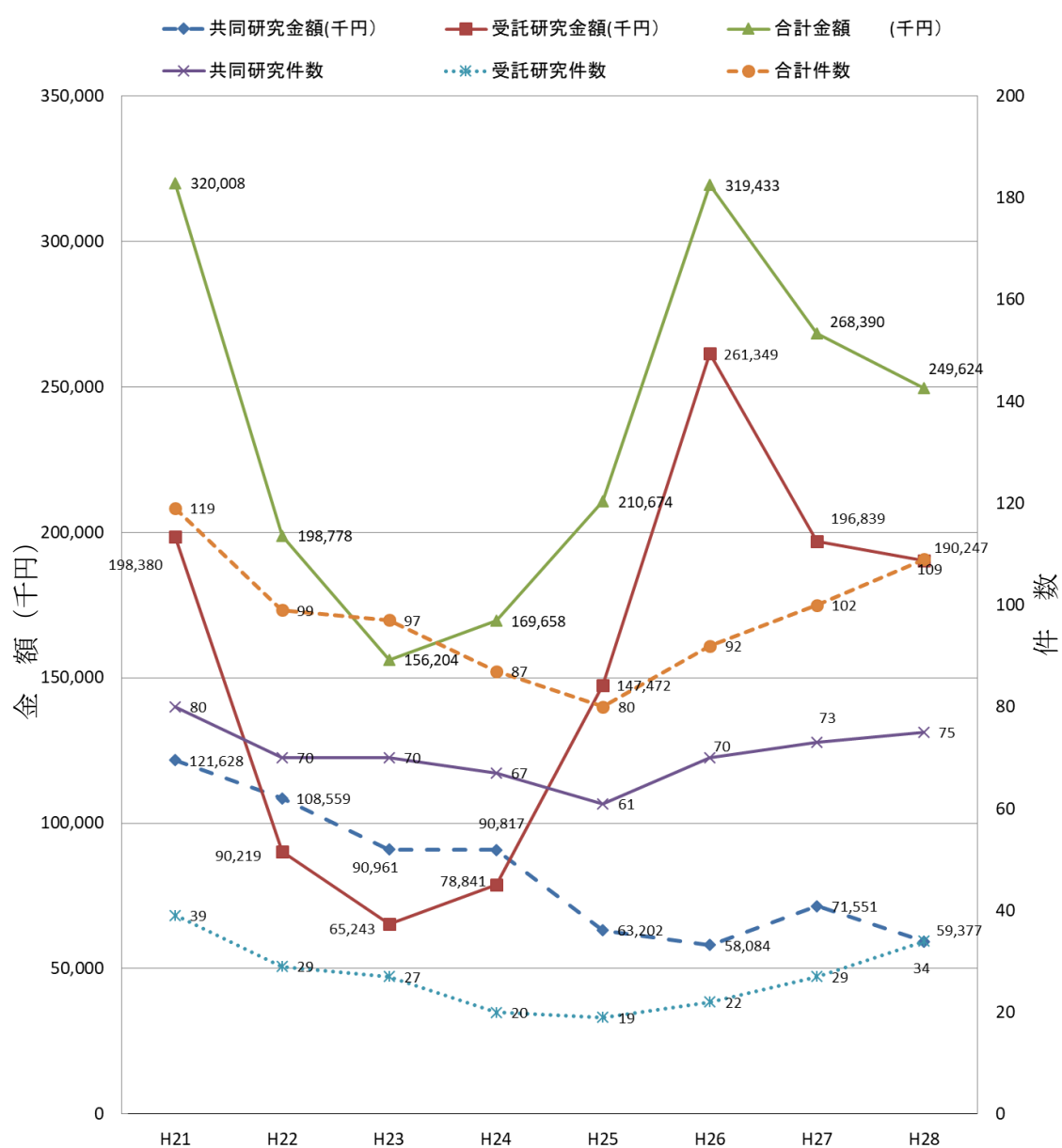
2-4. プレ共同研究

※研究代表者

NO	研究題目	大学側研究組織	民間機関等研究組織
1	水素社会構築のための 新規脱水素触の開発	※暮らし環境系領域 准教授 神田康晴	(株)フレイン・エナジー 代表取締役 小池田 章 技術部プロジェクトリーダー 永金 雅浩
2	新しい作用機序を有する 有機ゲルマニウム抗イン フルエンザ薬候補物質の 創製研究	※暮らし環境系領域 教授 中野博人	(株)浅井ゲルマニウム研究所 代表取締役社長 志柿 松作 研究部・物質科学マネジメント 佐藤 克行
3	多種類 MoCap データに 対応した身体動作データ ベースの構築	※しくみ情報系領域 助教 柴田傑	(株)わらび座 代表取締役 山川 辰巳 デジタルアートファクトリ・チーフエンジニア 海賀 孝明
4	多合金鋳鋼の切削加工技 術の研究開発	※もの創造系領域 教授 清水一道	(株)アールアンドイー 代表取締役 北山 茂一 研究開発部 主任研究委員 原 宏哉
5	自動車用アルミニウム鋳 物の使用環境下経時変化 に関する変化	※もの創造系領域 准教授 安藤哲也	トヨタ自動車(株) 鋳造生技部 部長 門野 英彦 鋳造生技部 開発室 古川 勇
6	表面改質処理層における 非破壊評価手法の適用基 礎研究	※環境エネルギーシステム 材料研究機構 准教授 朴峻秀	ウメトク(株) 北海道加工センター 係長 西川 詠二

「民間との共同研究」及び「受託研究」の件数と研究経費の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
共同研究金額(千円)	121,628	108,559	90,961	90,817	63,202	58,084	71,551	59,377
受託研究金額(千円)	198,380	90,219	65,243	78,841	147,472	261,349	196,839	190,247
合計金額(千円)	320,008	198,778	156,204	169,658	210,674	319,433	268,390	249,624
共同研究件数	80	70	70	67	61	70	73	75
受託研究件数	39	29	27	20	19	22	29	34
合計件数	119	99	97	87	80	92	102	109



民間との共同研究及び受託研究の件数と研究経費の推移

3. 事業活動（平成 28 年度）

1. 研究の活性化、共同研究の推進(8 頁)

- (1)平成 28 年度プレ共同研究(審査)(6 件)
- (2)研究協力会役員会および総会
- (3)(株)電制との共同研究会議(6 回)
- (4)東亜製薬(株)との共同研究会議
- (5)(株)メイセイエンジニアリングとの共同研究会議(35 回)
- (6)千代田商事(株)との共同研究会議
- (7)第 28 回国立大学法人共同研究センター長等会議
- (8)技術相談(30 件)

2. 外部資金獲得、研究シーズの紹介・活動(10 頁)

- (1)道内企業と道内大学、高専、公設試の共同研究発掘フェア
- (2)JST「新技術説明会」(1 件)
- (3)企業訪問(97 件)

3. 人材育成(11 頁)

- (1)平成 28 年度第 1 回室蘭工業大学地域コア運営委員会
- (2)胆振次世代経営革新塾(8 回)
- (3)出前講座(1 回)

4. セミナー、研修会、交流会の開催(12 頁)

- (1)CRD セミナー(1 件)
- (2)室工大&機械工業会コラボによる高度技術研修(2016 ものづくり技術セミナー)
- (3)第 28 回フロンティア技術検討会
- (4)第 9 回道内電気計装エンジニアリング研修会
- (5)合同研究会(2 件)

5. 他機関との連携活動(14 頁)

- (1)HiNT 協議会・連絡会・セミナー(12 回)
- (2)産学交流プラザ「創造」(10 回)
- (3)蘭参会(名刺交換会)(4 回)
- (4)北海道立総合研究機構との包括連携に関する会議
- (5)コラボ産学官(総会、講演会)(2 回)
- (6)コーディネーター会議および室蘭テクノセンター理事会(9 回)
- (7)日本機械学会北海道支部シニア会(2 回)
- (8)その他会議、連絡会(1 回)

6. 各種展示会への出展(18 頁)

- (1)北洋銀行ものづくりテクノフェア 2016
- (2)ビジネスEXPO「第29回北海道 技術・ビジネス交流会」
- (3)イノベーション・ジャパン 2016(～大学見本市&ビジネスマッチング～)
- (4)メッセナゴヤ 2016

7. 他機関主催事業への参加(ニーズ・情報の収集活動)(20 頁)

- (1)産学官金交流会

8. 広報(20 頁)

- (1)定期刊行物(2 件)
平成 27 年度 センターニュース No, 29(平成 28 年 6 月発行)
地域共同研究開発センター 研究報告 No, 27(平成 29 年 3 月発行)

1. 研究の活性化、共同研究の推進(6件)

(1) 平成 28 年度プレ共同研究(審査) (6 件)

日 時 : 平成 28 年 9 月 8 日(木)・9 月 12 日(月)・9 月 13 日(火)

場 所 : 室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室

①水素社会構築のための新規脱水素触の開発

くらし環境系領域 准教授 神田康晴

②新しい作用機序を有する有機ゲルマニウム抗インフルエンザ薬候補物質の創製研究

くらし環境系領域 教授 中野博人

③多種類 MoCap データに対応した身体動作データベースの構築

しくみ情報系領域 助教 柴田傑

④多合金鋳鋼の切削加工技術の研究開発

もの創造系領域 教授 清水一道

⑤自動車用アルミニウム鋳物の使用環境下径時変化に関する変化

もの創造系領域 准教授 安藤哲也

⑥表面改質処理層における非破壊評価手法の適用基礎研究

環境エネルギーシステム材料研究機構 准教授 朴峻秀

(2) 研究協力会役員会および総会

【議 題】

1. 平成 27 年度活動・決算報告
2. 平成 28 年度事業計画(案)、予算(案)等を協議

【特別講演】

講 師：「室蘭工業大学 地（知）の拠点推進室 室長 那須 守」

演 題：「COC+と産学連携の役割」

【情報交換会】

日 時：平成28年7月11日(月) 17:30 ～ 19:00

場 所：中嶋神社 蓬峯殿(室蘭市)

参加者：36 名



(3) (株) 電制との共同研究会議(6 回)

- ①日 時：平成 28 年 5 月 11 日(水) 16:00 ～ 17:00
- ②日 時：平成 28 年 7 月 19 日(火) 15:00 ～ 16:00
- ③日 時：平成 28 年 9 月 27 日(火) 15:00 ～ 16:00
- ④日 時：平成 28 年 11 月 29 日(火) 15:00 ～ 16:00
- ⑤日 時：平成 29 年 1 月 23 日(月) 15:30 ～ 17:00
- ⑥日 時：平成 29 年 3 月 28 日(月) 15:00 ～ 16:30

参加者：6 ～ 9 名(相津先生 他)

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 会議室

(4) 東亜製薬(株)との共同研究会議

【議 題】

平成 27 年度 CRD プレ共同研究

乳牛乳房炎対応抗生物質の表面弾性波デバイスによる検出手法の開発

日 時：平成 28 年 6 月 3 日

場 所：福田研究室

参加者：4 名

(5) (株) メイセイエンジニアリングとの共同研究会議(35 回)

- ①日 時：平成 28 年 5 月 17 日(火) 11:00 ～ 12:00
- ②日 時：平成 28 年 5 月 25 日(水) 11:00 ～ 12:00
- ③日 時：平成 28 年 6 月 1 日(水) 11:00 ～ 12:00
- ④日 時：平成 28 年 6 月 16 日(木) 11:00 ～ 12:00
- ⑤日 時：平成 28 年 6 月 21 日(火) 13:00 ～ 15:00
- ⑥日 時：平成 28 年 6 月 29 日(水) 11:00 ～ 12:00
- ⑦日 時：平成 28 年 7 月 6 日(水) 11:00 ～ 12:00
- ⑧日 時：平成 28 年 7 月 13 日(水) 11:00 ～ 12:00
- ⑨日 時：平成 28 年 7 月 20 日(水) 13:30 ～ 15:00
- ⑩日 時：平成 28 年 7 月 27 日(水) 11:00 ～ 12:00

- ⑪日 時：平成28年8月2日(火) 11:00 ～ 12:00
- ⑫日 時：平成28年8月9日(火) 11:00 ～ 12:00
- ⑬日 時：平成28年8月18日(木) 11:00 ～ 12:00
- ⑭日 時：平成28年9月6日(火) 13:00 ～ 15:00
- ⑮日 時：平成28年9月21日(水) 11:00 ～ 12:00
- ⑯日 時：平成28年9月28日(水) 11:00 ～ 12:00
- ⑰日 時：平成28年10月6日(木) 11:00 ～ 12:00
- ⑱日 時：平成28年10月12日(火) 11:00 ～ 12:00
- ⑲日 時：平成28年10月25日(火) 11:30 ～ 12:00
- ⑳日 時：平成28年11月2日(水) 13:00 ～ 14:30
- ㉑日 時：平成28年11月15日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉒日 時：平成28年11月22日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉓日 時：平成28年11月29日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉔日 時：平成28年12月6日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉕日 時：平成28年12月13日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉖日 時：平成28年12月20日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉗日 時：平成28年12月27日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㉘日 時：平成29年1月13日(金) 13:30 ～ 15:00
- ㉙日 時：平成29年1月17日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㊀日 時：平成29年1月23日(月) 11:00 ～ 12:00
- ㊁日 時：平成29年1月31日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㊂日 時：平成29年2月7日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㊃日 時：平成29年2月21日(火) 14:00 ～ 15:30
- ㊄日 時：平成29年2月28日(火) 11:00 ～ 12:00
- ㊅日 時：平成29年3月8日(水) 11:00 ～ 12:00

場 所：室蘭工業大学 V508

参加者：2 ～ 3名(板倉先生 他)

(6) 千代田商事(株)との共同研究会議(1回)

①日 時：平成28年5月30日(月) 9:00 ～ 12:00

場 所：千代田商事(株)大分製鉄所

参加者：7 ～ 8名

(7) 第27回国立大学法人 共同研究センター長等会議

日 時：平成28年9月29日(木) 13:30 ～ 20:00

場 所：福井県国際交流会館

参加者 200名

(8) 技術相談(30件)

2. 外部資金獲得、研究シーズの紹介・活動(2件)

(1) 道内企業と道内大学、高専、公設試の共同研究発掘フェア

(北洋銀行ものづくりテクノフェア2016と同時開催)

～北海道を自動走行の実証試験の開発拠点に～

「ものづくり若者の道内定着に向けたCOC+事業の活動と参画への提案」

地(知)の拠点推進室室長 特任教授 那須 守

主 催：北見工業大学、はこだて未来大学、北海道科学大学、北海道科学大学短期大学

北海道大学、室蘭工業大学、旭川工業高等専門学校、函館工業高等専門学校、北海道

日 時：平成28年7月21日(木) 13:00 ～ 17:00

後 援：(株)北洋銀行、北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会

場 所：アクセスサッポロ(札幌市)

参加者：約4,800名 参加企業：220社・団体

(2) JST「新技術説明会」(1件)

①「抗認知症効果が期待されるアミロイドβ凝集阻害物質の微量探索システム」

室蘭工業大学 大学院工学研究科 暮らし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

日 時：平成29年1月26日(木) 10:00 ~ 15:00

来場者：141名

(4) 企業訪問(97件)

3. 人材育成(3件)

(1) 平成28年度第1回室蘭工業大学地域コア運営委員会

【主催者挨拶】

室蘭工業大学 学長 空閑 良壽

【議題】

スーパー連携大学院の現状について

室蘭工業大学 理事(学術担当)・副学長 松田 瑞史

【意見交換】

【講演】

有用微生物の高度利用による循環型社会

形成推進および地域産業の活性化

暮らし環境系領域 教授 チャン ヨン Chol

【情報交換会】

日 時：平成29年3月21日(火) 16:00 ~ 17:30

場 所：室蘭工業大学 本部棟 3階中会議室

参加者：17名

(2) 胆振次世代革新塾 ～管理者や実務担当者「自ら」優れた経営感覚を身に着ける～

「強い組織に変える力」(8回)

受講時間：19:00~21:00(初回のみ30分拡大)

受講会場：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター2F「産学交流室」

主 催：塾 長 西野 義人(株)西野製作所 代表取締役)

連携・協力 法政大学

『ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 室蘭』

構成 室蘭工業大学 地域共同研究開発センター : 室蘭市 経済部 産業振興課

(公財)室蘭テクノセンター : 室蘭信用金庫

①テーマ：「多様な考え」

法政大学 地域研究センター 兼任講師 中島 ゆき

日 時：平成28年7月21日(木)19:00~21:30

参加者：19名

②テーマ：「広い視野」

法政大学 地域研究センター 教授 岡本 義行

日 時：平成28年8月4日(木)19:00~21:00

参加者：22名

③テーマ：「学習する組織」

元花王役員/元法政大学 教授 北原 正敏

日 時：平成28年8月25日(木)19:00~21:00

参加者：22名

④テーマ：「学習する個人」

法政大学 地域研究センター 教授 石山 恒貴

日 時：平成 28 年 9 月 15 日(木)19：00～21：00

参加者：17 名

⑤テーマ：「変革」

ファシリテート 兼任講師 中島 ゆき

日 時：平成 28 年 10 月 6 日(木)19：00～21：00

参加者：16 名

⑥テーマ：「新事業への挑戦と発想力」

室蘭工業大学 CRD 副センター長 清水 一道

日 時：平成 28 年 10 月 27 日(木)19：00～21：00

参加者：18 名

⑦テーマ：「新事業への挑戦と発想力」

室蘭工業大学 CRD 副センター長 清水 一道

日 時：平成 28 年 11 月 17 日(木)19：00～21：00

参加者：17 名

⑧テーマ：「総括 個人課題発表」

ファシリテート 兼任講師 中島 ゆき

日 時：平成 28 年 11 月 30 日(水)19：00～21：00

参加者：21 名



(3) 出前講座

講義内容：基礎編（土の分類、土の破壊）

設計編（杭の水平抵抗力：極限平衡法、弾性支承理論）

くらし環境系領域 准教授 永井 宏

日 時：平成 28 年 6 月 29 日(水)13：00～16：00

場 所：榊郷葉 石狩工場

参加者：5 名

4. セミナー、研修会、交流会の開催(5 件)

(1) CRD セミナー(1 件)

テーマ：「産学官連携業務における材料分析装置の適用事例」

もの創造系領域 准教授 柴田 義光

主 催：産学交流プラザ「創造」

日 時：平成29年3月21日(火) 16:00 ～ 17:00

場 所：かめや（室蘭市）

参加者：22 名

(2) 室工大&機械工業会コラボによる高度技術研修(2016 ものづくり技術セミナー)

テーマ：精密加工技術および周辺技術の最新動向とその応用

テーマⅠ：ウォータージェットによる加工技術

室蘭工業大学 もの創造系領域機械航空創造系学科 清水 一道

テーマⅡ：精密加工機械の最新動向と活用

ヤマザキマザック(株) 営業本部営業統括部マーケティング企画課 主幹 中島 昭彦

テーマⅢ：精密加工を支えるバリ取り自動化技術の最新動向

(株)ジーバックテクノロジー 技術担当マネージャー 豊里 太祐

テーマⅣ：5軸マシニングを有効に使うCAM技術と活用事例

北海道職業能力開発大学校 生産機械システム技術科 職業能力開発教授 江守 真

主催：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

(一社)北海道機械工業会(自動車プレス部会、機械製缶部会、札幌支部))

後援：北海道プレス加工研究会、(公社)精密工学会 北海道支部、(一社)日本機械学会 北海道支部、(公社)日本鋳造工学会 北海道支部、(地独)北海道立総合研究機構 工業試験場、室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 研究協力会、異業種交流プラザ“創造”

日時：平成28年12月15日(水) 13:00～16:30

場所：京王プラザホテル札幌 2階 ローズ 札幌市中央区北5西7-2-1(札幌市)

参加者：72名

(3)第28回フロンティア技術検討会

総合テーマ：「ものづくりルネッサンス」

テーマⅠ：「地域創生とイノベーション創出 ～人材育成と地域企業支援～」

室蘭工業大学 もの創造系領域 機械航空創造系学科 機械システム工学コース

教授 清水 一道

テーマⅡ：「東京 墨田 下町工場の挑戦」

(株)浜野製作所 代表取締役 浜野 慶一

【産・学・官交流会】

主催：室蘭地域産学官連携事業実行委員会

委員会構成

室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 研究協力会

(公財)室蘭テクノセンター、産学交流プラザ「創造」

後援：北海道胆振総合振興局、室蘭市、登別市、伊達市、室蘭商工会議所、登別商工会議所

伊達商工会議所、室蘭信用金庫、伊達信用金庫、北洋銀行、北海道銀行

日本政策金融公庫、北海道新聞社 室蘭支社、室蘭民報社

北海道中小企業家同友会 西胆振支部、北海道IM連携促進会

日時：平成28年10月28日(金) 15:00～19:15

場所：中嶋神社 蓬峯殿(室蘭市)

参加者：132名



(4) 第9回道内電気計装エンジニアリング研修会

【講演】

先端技術紹介(10:45～12:00)

テーマⅠ：「非鉄金属材料の腐食－銅とアルミを中心に－」

もの創造系領域 准教授 境 昌宏

メンテナンスに関するご紹介(13:00～14:30)

テーマⅡ：「設備診断技術のご紹介」

日鉄住金テックスエンジ(株) 村山 恒実

テーマⅢ：「電動機診断技術のご紹介」(14:45～16:15)

北都電機株 岡林 清
工藤 也斗志

【討議】

日常的な技術課題(16:15～17:15)

テーマⅠ：「日常メンテナンスに関して」

テーマⅡ：「老朽化設備の更新について討議」

日 時：平成28年8月25日(木) 10:45～17:30

場 所：日鉄住金テックスエンジ(株) 室蘭支店(室蘭市)

参加者：32名

(5) 合同研究会(2件)

①第1回「北のものづくり総合技術交流会」「金型技術研究会」

「日本機械学会北海道支部 道南地区シニア会」合同研究会

【工場見学】

馬場機械製作所・西野製作所

【講演】

「日本刀製作工程の科学的合理性」

日本製鋼所室蘭製作所 瑞泉鍛刀所 刀匠・博士(工学) 佐々木 胤成

日 時：平成28年7月8日(金)14:00～17:30

場 所：地域共同研究開発センター

参加者：39名

②第2回「北のものづくり総合技術交流会」「金型技術研究会」合同研究会

【工場見学】

(株)松本鐵工所

【講演】

「塑性加工を理解するための基礎知識」

室蘭工業大学 教授 寺本 隆司

日 時：平成29年3月24日(金) 13:30～17:15

場 所：苫小牧テクノセンター

参加者：28名

5. 他機関との連携活動(8件)

(1) HiNT 協議会・連絡会・セミナー(13回)

①主 催：HiNT連絡会・セミナー

テーマ：「官能検査自動化・システム化と標準化

－ めっき光沢ムラ・色ムラの検査装置開発と関連のトピックス紹介 －」

野中一洋(ノナカ カズヒロ) エレクトロニクス・製造領域研究戦略部 IC

(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

日 時：平成28年4月19日(火) 15:30～16:55

参加者：18名

- ②主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年5月18日(水) 15:30 ～ 16:00
参加者：15名
- ③主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年6月23日(木) 15:30 ～ 16:30
参加者：12名
- ④主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年7月27日(水) 15:30 ～ 16:30
参加者：11名
- ⑤主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年9月14日(水) 15:30 ～ 17:00
参加者：11名
- ⑥主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年10月19日(水) 15:30 ～ 16:30
参加者：16名
- ⑦主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年11月16日(水) 15:30 ～ 16:30
参加者：12名
- ⑧主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年12月21日(水) 15:30 ～ 16:30
参加者：12名
- ⑨主 催：HiNT連絡会
日 時：平成29年1月18日(水) 15:30 ～ 16:30
参加者：14名
- ⑩主 催：HiNT連絡会
日 時：平成28年2月21日(火) 15:30 ～ 16:30
参加者：14名
- ⑪主 催：HiNT連絡会
日 時：平成29年3月15日(水) 15:30 ～ 16:30
参加者：13名
- ⑫主 催：HiNT運営協議会
日 時：平成29年3月29日(水) 10:00 ～ 12:00
参加者：25名
- 場 所：R&Bパーク札幌大通サテライト(札幌市)

(2)産学交流プラザ「創造」(10回)

①定例会

「製造現場の改善による成長力強化事業

ものづくり改善インストラクター改善活動について」

(株)檜崎製作所 室蘭工場長 山崎 善弘

開催日：平成28年4月19日(火)

場 所：かめや

参加者：31名

②第1回役員会

開催日：平成28年4月26日(火)

場 所：(公財)室蘭テクノセンター

参加者：12名

③総会・交流会

開催日：平成28年5月17日(火)

場 所：中嶋神社 蓬峯殿(室蘭市)

参加者：総会 42名・交流会 41名

④第2回役員会

開催日：平成28年8月18日(木)
場 所：(公財)室蘭テクノセンター
参加者：12名

⑤定例会(RICOH ジャパン(株))

開催日：平成28年9月27日(火)
場 所：(公財)室蘭テクノセンター
参加者：16名

⑥第3回役員会

開催日：平成28年10月24日(月)
場 所：(公財)室蘭テクノセンター
参加者：8名

⑦定例会(他地域企業訪問(岩手県宮古市)視察報告会)

開催日：平成28年11月28日(月)
場 所：かめや
参加者：22名

⑧第4回役員会

開催日：平成29年1月5日(木)
場 所：(公財)室蘭テクノセンター
参加者：7名

⑨第5回役員会

開催日：平成29年3月21日(火)
場 所：(公財)室蘭テクノセンター
参加者：9名

⑩定例会

「産学官連携業務における材料分析装置の適用事例」

開催日：平成29年3月21日(火)
場 所：かめや
参加者：22名

CRD センター 准教授 柴田 義光

(3) 蘭参会(名刺交換会)(4回)

- ①日 時：平成28年5月24日(火) 18:30 ~ 20:30
参加者：95名
- ②日 時：平成28年8月9日(火) 18:30 ~ 20:30
参加者：94名
- ③日 時：平成28年11月8日(火) 18:30 ~ 20:30
参加者：88名
- ③日 時：平成29年2月7日(火) 18:30 ~ 20:30
参加者：110名

場 所：中嶋神社 蓬峯殿(室蘭市)

(4) 北海道立総合研究機構との包括連携に関する会議

①協議会

開催日：平成28年7月6日(水)
場 所：道総研プラザ(札幌市)
参加者：9名

(5) コラボ産学官(総会等、理事会)(2回)

①第8回本部通常総会

日 時：平成28年6月17日(金) 13:30 ~ 14:30
場 所：コラボ産学官 プラザ in Tokyo(朝日信用金庫(東京都台東区))
参加者：36名

②第1回幹事会および第1回運営委員会合同会議・意見交換会

日 時：平成29年3月28日(火) 15:00～19:00

場 所：コラボ産学官 プラザ in Tokyo(朝日信用金庫(東京都台東区))

参加者：15名

(6)コーディネーター会議(1回/1ヶ月)(9回)および室蘭テクノセンター理事会

①日 時：平成28年5月17日(火) 15:00～16:00

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室

②日 時：平成28年6月21日(火) 15:00～16:00

場 所：(公財)室蘭テクノセンター

③日 時：平成28年7月27日(水) 15:00～16:00

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室

④日 時：平成28年8月23日(火) 13:00～14:00

場 所：(公財)室蘭テクノセンター

⑤日 時：平成28年9月28日(水) 15:00～16:00

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室

⑥日 時：平成28年10月26日(水) 16:00～17:00

場 所：(公財)室蘭テクノセンター

⑦日 時：平成28年12月14日(水) 16:00～17:00

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 産学交流室

⑧日 時：平成29年1月23日(月) 11:00～12:00

場 所：(公財)室蘭テクノセンター

⑨日 時：平成29年3月22日(水) 11:00～12:00

場 所：(公財)室蘭テクノセンター

参加者：7～10名

(7) 日本機械学会北海道支部シニア会

I. 「科学と技術に関する公開講座」

(1) 「日本刀を科学する」

副 題：日本刀の機能美と科学的合理性

講 師：臺丸谷政志名誉教授

日 時：平成28年7月23日(土) 15時30分～17時

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

参加者：32名

(2) 「やさしい自動制御のはなし」

副 題：制御原理からコンピュータによる制御まで

講 師：疋田弘光名誉教授

日 時：平成28年11月5日(土) 13時30分～15時

場 所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター

参加者：32名

II. 「企業見学会・交流会」

(1) 野村興業(株)イトムカ鉱業所

日 時：平成28年7月12日

場 所：塩別

参加者：7名

(2) 北海道エア・ウォーター、日本製鋼所

日 時：平成28年10月12日

場 所：室蘭市

参加者：9名

後 援：室蘭市教育委員会
協 賛：室蘭テクノセンター

(8) その他会議、連絡会(1回)

① 第二回室蘭創業支援ネットワーク会議

日 時：平成28年7月15日(金) 17:00 ～

場 所：ホテルサンルート室蘭

参加者：22名

6. 各種展示会への出展(5件)

(1) 北洋銀行ものづくりテクノフェア2016

パネル展示等(本学関係分)

「抗認知症物質の微量探索システム」

くらし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

「摩耗寿命を向上させた新規耐摩耗材料の研究開発」

機械航空創造系学科 教授 清水 一道

「石炭の地下ガス化(UCG)」

環境科学・防災研究センター 教授 板倉 賢一

「魔法の粉【貝殻ナノパウダー】」

くらし環境系領域 准教授 山中 真也

「環境調査用自立走行車両」

もの創造系領域ロボティクスユニット 教授 花島 直彦

「理系女子応援プロジェクト ～理系へ行こう、そして現場へ～」

室蘭工業大学

主 催：北洋銀行

後 援：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、(社)北海道機械工業会
北海道経済連合会、(社)北海道商工会議所連合会、(社)北海道中小企業家同友会
札幌商工会議所、(独)中小企業基盤整備機構北海道支部
(独)産業技術総合研究所北海道センター、(地独)北海道立総合研究機構
(社)北海道発明協会、(公財)北海道中小企業総合支援センター
(公財)北海道科学技術総合振興センター、北海道自動車産業集積促進協議会
札幌証券取引所、(財)省エネルギーセンター北海道支部、(公財)北海道環境財団
(財)さっぽろ産業振興財団、EMS-JP北海道、(株)北海道二十一世紀総合研究所
(独)土木研究所寒地土木研究所、旭川商工会議所、国立研究開発法人 土木研究所、
(公財)函館地域産業振興財団、(公財)大田区産業振興協会

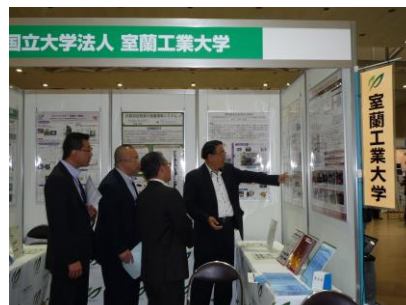
協 力：北海道大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学
札幌医科大学、札幌市立大学、東京農業大学 オホーツク実学センター、
函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、
旭川工業高等専門学校

特別協力：(株)青森銀行、日本政策金融公庫 札幌支店、札幌信用金庫、空知信用金庫、
苫小牧信用金庫、帯広信用金庫、旭川信用金庫

日 時：平成28年7月21日(木) 10:00 ～ 17:00

場 所：アクセスサッポロ(札幌市)

参加者：約4,800名 参加企業：220社・団体



(2) ビジネスEXPO「第30回北海道 技術・ビジネス交流会」

パネル展示等 (本学関係分)

「抗認知症物質の微量探索システム」

暮らし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

「摩耗寿命を向上させた新規耐摩耗材料の研究開発」

機械航空創造系学科 教授 清水 一道

「石炭の地下ガス化 (UCG)」

環境科学・防災研究センター 教授 板倉 賢一

「魔法の粉【貝殻ナノパウダー】」

暮らし環境系領域 准教授 山中 真也

「環境調査用自立走行車両」

もの創造系領域ロボティクスユニット 教授 花島 直彦

「理系女子応援プロジェクト ～理系へ行こう、そして現場へ～」

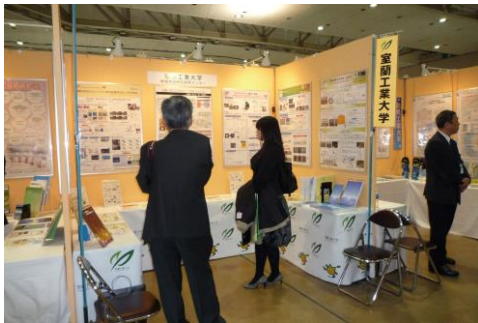
室蘭工業大学

主催：北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会

日時：平成28年11月10日(木) 10:00～17:30、11日(金) 9:30～17:00

場所：アクセスサッポロ(札幌市)

参加者：20,665名



(3) イノベーション・ジャパン 2016 (～大学見本市&ビジネスマッチング～)

パネル展示等 (本学関係分)

「ホウ酸アルミナノウィスカーの合成法 (腐食合成法)」

もの創造系領域 講師 長船康裕

「大きな磁気光学効果を示す液体とその光デバイス応用」

暮らし環境系領域 准教授 飯森俊文

日時：平成28年8月25日(木) 10:00～17:30、26日(金) 10:00～17:00

場所：東京ビックサイト 東京国際展示場(東京都)

参加者：25日(11,284名)、26日9,292名) 合計20,576名

(4) メッセナゴヤ 2016

パネル展示等 (本学関係分)

「摩耗寿命を向上させた新規耐摩耗材料の研究開発」

機械航空創造系学科 教授 清水 一道

「抗認知症物質の微量探索システム」

暮らし環境系領域 准教授 徳楽 清孝

日時：平成28年10月26日(水) 10:00～17:30～29日(土) 10:00～17:00

場所：ポートメッセナゴヤ(名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地)

参加者：26日(15,804名)、27日17,765名)、28日(18,504名)、29日12,719名)合計64,792名

(5) 展示会出展助成事業(「展示会出展助成事業」)(1件)

出展研究シーズ名：ホウ酸アルミナノウiskアーの合成法（腐食合成法）
申請教員：もの創造系領域 講師 長船康裕

出展研究シーズ名：大きな磁気光学効果を示す液体とその光デバイス応用
申請教員：くらし環境系領域 准教授 飯森俊文

展示会名：イノベーション・ジャパン 2016 - 大学見本市
日 時：平成 28 年 8 月 25 日（木）～ 26 日（金）
場 所：東京ビッグサイト
参加者：20,576 名（8/25～8/26）



7. 他機関主催事業への参加（ニーズ・情報の収集活動）（2 件）

(1) 産学官金交流会

① 苫小牧地域産学官連携会議

日 時：平成28年10月3日（月） 15:30 ～ 18:00

場 所：苫小牧経済センター

参加者：20 名

② 共同研究を通じた地域支援

日 時 平成 29 年 3 月 10 日（金） 15:00 ～ 17:00

場 所 苫小牧経済センター 6 F 大ホール

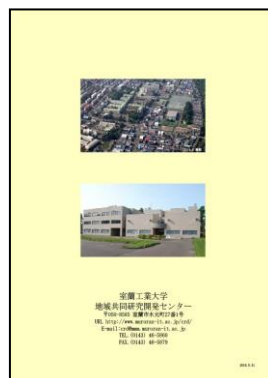
講 師 室蘭工業大学 くらし環境系領域・物質化学ユニット 教授 大平 勇一
苫小牧工業高等専門学校創造工学科 助教 藤田 彩華

8. 広報（1 件）

(1) 定期刊行物（平成 28 年 6 月・平成 29 年 3 月）（2 件）

① 研究報告 No.26

② センターニュース No.28



4. 地域共同研究開発センター 研究協力会

役員名簿

(平成29年7月1日現在)

役員名	会社名	役職	氏名
会長	新日鐵住金(株) 棒線事業部 室蘭製鐵所	生産技術部長	大津 芳久
副会長	王子製紙(株) 苫小牧工場	工場長代理	木戸 信幸
副会長	(株)日本製鋼所 室蘭製作所	副所長	東 司
副会長	(株)光合金製作所	取締役会長	井上 一郎
理事	日鋼検査サービス(株)	代表取締役社長	中村 毅
監事	(株)栗林商会	部長	野村 耕二
監事	日鉄住金セメント(株)	取締役	若杉 伸一

任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日

研究協力会加入企業

(平成 29 年 7 月 1 日現在)

	企業名	住所	代表者名	電話番号
		業務内容		
1	(株)アール アンドイー	〒059-0462 登別市富浦町 223 番地 1	代表取締役 北山 茂一	0143-80-2233
		産業廃棄物処理業(収運・中間・最終)及び再生材等の販売 http://www.rande.co.jp/		
2	(株)浅井ゲルマニウム 研究所	〒042-0958 函館市鈴蘭丘町 3-131	代表取締役 志柿 松作	0138-32-0032
		1967 年、50 年前に世界発の水溶性有機ゲルマニウム化合物を合成し、安全性確認されたアサイゲルマニウムを、食品および化粧品原料として製造販売されています。また、その生理活性を研究開発することで用途開発等続けているパイオニア企業です。		
3	伊藤組土建(株)	〒060-8554 札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1	代表取締役社長 玉木 勝美	011-261-6111
		1)建設業、2)宅地建物取引業、3)建築の設計および工事監理 当社は明治 26 年創業以来、北海道を拠点として営業してきました。当社の理念の「誠心誠意」を忘れず、土木建築の建設工事を通じて北海道の発展に貢献していきたいと考えています。 http://www.itogumi.co.jp/		
4	岩田地崎建設(株)	〒060-8630 札幌市中央区北 2 条東 17 丁目 2 番地	代表取締役社長 岩田 圭剛	011-221-2221
		1)建築工事、2)土工工事、3)その他 建設工事全般に関する企画、測量、設計、監理、施工、エンジニアリング及びコンサルティング。 http://www.iwata-gr.co.jp/		
5	岩見沢鋳物(株)	〒068-0111 岩見沢市栗沢町由良 497-3	代表取締役 白井 雅人	0126-45-3492
6	H R S (株)	〒047-0005 小樽市勝納町 8 番 39 号	代表取締役社長 鈴木 哲夫	0134-22-7710
		・調査(地質・土質・環境・水質・交通量・雪) ・計画・設計(道路・構造物・防災対策・農業土木・CAD) ・情報(GIS・情報処理)・マネジメント(現場技術・計測) ・測量(用地・路線・GPS)・補償調査 http://www.h-r-s.co.jp		
7	(株)エーティック	〒063-0801 札幌市西区二十四軒 1 条 5 丁目 6-1	代表取締役社長 舟田 幸太郎	011-644-2845
		1)環境調査、2)地質調査、3)各種計画・設計、4)防災対策、5)計測・解析、6)施工・維持管理など、プランニングからフィールドワークまで一貫したコンサルティングを提供する総合建設コンサルタントです。 http://www.a-tic.co.jp		
8	(株)エスイーシー	〒040-8632 函館市末広町 22 番 1 号	代表取締役社長 永井 英夫	0138-22-7188
		1)情報通信系ソフト・ファーム・ハードウェア設計開発、2)各種アウトソーシングサービス、3)システムインテグレーション、インターネットプロバイダ http://www.hotweb.or.jp/sec/		

9	㈱荏原製作所	〒050-0067 室蘭市陣屋町2丁目4番15号	代表執行役社長 前田 東 一	0143-50-2221
10	王子製紙(株) 苫小牧工場	〒053-8711 苫小牧市王子町2丁目1-1 紙・パルプ製造業	取締役工場長 植村 彰彦	0144-32-0111 http://www.ojipaper.co.jp/
11	(株)郷葉	〒003-0838 札幌市白石区北郷8条10丁目1-28	代表取締役 浅田 恵 史	011-872-5221 1) 建築業 ①大型建物に於ける金物施工図作成、自在工場製作・取付 ②ビソーラダー設計・自在工場製作・取付・ ③太陽高架台設計・自在工場製作・取付 2) 通信鉄塔 携帯基地局鉄塔設計・製作・施工 http://www.kyoyo.net
12	極東高分子(株)	〒047-0261 小樽市銭函3丁目296	代表取締役社長 近藤 晴 之	0134-62-2111 包装資材(ポリエチレン製品、ラミネート製品、成型容器段ボール製品)の製造、販売。 http://www.kyokutou.co.jp
13	栗林機工(株)	〒050-0082 室蘭市寿町3丁目4-2	代表取締役社長 栗林 和 徳	0134-62-2111 1. 設計業務(機械・プラント配管等の計画設計)、2. 各種機械・プラントの据付及びメンテナンス、工事管理(マネジメント)、配管工事(下水、上水、油圧、石油・化学プラント一式)、3. 土木、建築工事(一級建築士事務所)一式、4. 大型油圧クレーン賃貸業(550t、450t その他各種保有)、5. 技術士事務所(機械・総合技術監理)、6. 安全コンサルタント事務所(機械・建築)、7. 陸上・海上輸送営業業務 得意分野: 1) 大型機械据付計画及び現地工事、2) 石油・化学プラントの動機械、静機械メンテナンス(全国展開の実績)、3) 港湾荷役機械・天井クレーンの据付・点検・補修業務、4) 油圧機器、配管の設計及び施工 http://www.kikounet.co.jp/
14	㈱栗林商会	〒051-0023 室蘭市入江町1-19	取締役社長 栗林 和 徳	0143-24-7011 運輸・船舶代理店事業 商事事業 保険事業 http://www.kurinet.co.jp/
15	(株)コーノ	〒041-0824 函館市西桔梗町213番地の82	代表取締役 阿部 俊 夫	0138-49-1071 「熱と水をキーワードに北海道、東北で新産業を創造する」を経営理念とし、熱と水に係わる省エネ機器を開発・製造・販売しています。 平成21年度、熱源内蔵型FF式真空暖房機「HPH」を自社開発し発売。 平成21年度「北海道新技術・新製品開発賞」受賞。 http://www.kohno.info/
16	こぶし建設(株)	〒068-0833 岩見沢市志文町966番地15	代表取締役社長 澤口 良 二	0126-25-3377 http://www.kensonet.co.jp/kobushi/

17	産業振興(株) 室蘭事業所	〒050-0087 室蘭市仲町 12	代表取締役社長 齊 藤 豊	0143-44-5334
		http://www.sangyoshinko.co.jp/		
18	清水鋼鐵(株) 苫小牧製鋼所	〒059-1372 苫小牧市字勇払 145-13	代表取締役社長 苫小牧製鋼所長 清 水 孝	0144-56-1111
		<p>直流電気炉により道内発生の鉄スクラップを主原料に溶解し鋼塊・鉄筋丸棒を製造・販売しております。道内におけるリサイクル産業を振興し循環型社会の形成に寄与しております。</p> <p style="text-align: right;">http://www.shimizusteel.co.jp/</p>		
19	新日鐵住金(株) 棒線事業部 室蘭製鐵所	〒050-8550 室蘭市仲町 12 番地	執行役員 室蘭製鐵所長 米 澤 公 敏	0143-47-2111
		<p>創業は1909年(明治42年)、北海道唯一の高炉を持つ製鉄所として発足し、夕張の石炭と噴火湾の砂鉄を原料として鉄づくりが始まった。現在も道内唯一の銑鋼一貫製鉄所として、主に自動車のエンジンや駆動系、足まわり部品等に使用される高品質な特殊鋼棒鋼線材を製造している。</p> <p>プラスチックリサイクル事業や副産物のスラグを活用し海岸の藻場を再生する「海の森づくり」等、地球環境改善の取り組みも行なっている。</p> <p style="text-align: right;">http://www.nssmc.com</p>		
20	(株)水工リサーチ	〒062-0933 札幌市豊平区平岸 3 条 3 丁目 2 番 7	代表取締役 坂 口 正 美	011-812-7724
		<p>水理模型の企画、制作、実験、解析 水理シミュレーション、各種水文資料解析</p> <p style="text-align: right;">http://www.suiko-r.co.jp/</p>		
21	(株)スガテック 室蘭支店	〒050-0087 室蘭市仲町 12	執行役員支店長 東 野 郁 夫	0143-44-2223
		<p>製鐵・化学・電力並びに環境分野を中心とした各種機械プラント設備の設計・製作・建設及びメンテナンス。</p> <p style="text-align: right;">http://www.sugatec.co.jp/</p>		
22	千住金属工業(株)	〒120-8555 東京都足立区千住橋戸町 23	取締役社長 鈴 木 良 一	03-3888-5151
		<p>はんだ各種・はんだ付装置・オイルレス軸受等の開発・製造・販売を行ない、高いシェアを持っています。</p> <p>環境対応鉛フリーはんだの世界一のメーカーで、特に世界トップシェアのはんだボールにおいて最小 30μm のはんだボールを作る技術を開発し、次世代実装技術の開発に貢献できるように努力をしています。</p> <p style="text-align: right;">http://www.senju-m.co.jp/</p>		
23	(株)田中組	〒060-0006 札幌市中央区北 6 条西 17 丁目 17-5	取締役社長 阿 部 芳 昭	011-611-3331
		<p>1) 土木建築工事業、2) 宅地建物取引業、3) 測量業、4) 土木建築設計及び監理、5) 土木建築用資材・機械器具の販売及び斡旋、6) 前各号に附帯関連する一切の事業</p> <p style="text-align: right;">http://www.tanakagumi.co.jp/</p>		

24	千代田商事(株)	〒670-0976 姫路市中地字杉田 421-1	取締役社長 小 泉 洋 平	079-294-2331
		1, 産業用機械装置、機械部品の販売・設計・施工 2, 鉄鋼及び非鉄金属関連製品の販売 3, 燃料及び石油関連商品の販売 4, 化学工業薬品、油脂、塗料その他化学製品の販売 5, 各種工業用ゴム製品等化学製品の販売 6, 各種機械の修理及び据付など建設工事の請負業 7, 電子機械部品及び電子通信機の販売		
25	(株)電制	〒067-0051 江別市工業町 8 番地の 13	代表取締役 田 上 寛	011-380-2101
		・ 各種電力監視制御システムの開発・設計・製造 ・ ダム管理システムや各種通信システム等の開発・設計・製造 ・ 福祉機器や各種センサーの開発等 http://www.dencom.co.jp/		
26	(株)ドーコン	〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4-1	代表取締役社長 佐 藤 謙 二	011-801-1510
		http://www.docon.jp/		
27	(株)永澤機械	〒050-0083 室蘭市東町 3 丁目 1 番 4 号	代表取締役 永 澤 優	0143-44-2888
		当社は、精密切削加工を中心に素材の熱処理から機械加工、仕上げ組み立てまでの一貫製造を行い、各種産業機械部品等を製作させて頂いています。		
28	(株)檜崎製作所	〒050-8570 室蘭市崎守町 385 番地	代表取締役社長 小 櫻 義 隆	0143-59-3611
		弊社は、水処理等環境製品、船舶上架施設、鉄管・ゲート、鉄鋼製品及び橋梁のメーカーとして、北海道を中心に全国的に事業を展開しています。最近の環境部門においては、酪農パーラー排水処理設備「パラクリン」、河川・湖沼・ダム・閉鎖性海域等の水質を改善する高濃度酸素溶解装置「アクオン」など商品化する等、環境にフォーカスしながら進化を遂げています。 http://www.narasaki-ss.co.jp/		
29	(株)西野製作所	〒050-0075 室蘭市中島本町 1 丁目 11 番 16 号	代表取締役 西 野 義 人	0143-44-5945
		弊社は一般産業機械部品の製作及び修理を主業務として創業いたしました。現在では、溶射加工、硬質クロムメッキ、特殊溶接等の各種表面処理なども取り入れ、機械部品の寸法復元、耐久性性能復帰など高付加価値、多品種少量生産に一貫して対応できる体制を確立し、短納期、低価格を実現いたします。 http://nishinoseisakusyo.jp/		
30	(株)西村組	〒099-6404 紋別郡湧別町栄町 133-1	代表取締役 西 村 幸 浩	01586-5-2111
		当社は作業船を用いた、港湾工事や水産土木工事を施工することで、物流促進や水産物の安定供給に寄与できればと考えています。 http://www.nishimura.co.jp/		

31	日鋼検査サービス(株)	〒051-8505 室蘭市茶津町4番地1	代表取締役社長 中村毅	0143-22-8386
		弊社は、(株)日本製鋼所で製作された大型溶接構造物、鑄鍛鋼品の試験・検査で長年培われた技術を基盤とし、自社開発した技術を用いてプラントの総合保全に貢献致します。(各種非破壊検査、熱交換器伝熱管検査、タンク底板連続肉厚検査、各種材料試験、破損原因調査、余寿命診断、鉄鋼分析、環境分析)。 http://www.nikkoukensa.co.jp/		
32	日鋼MEC(株)	〒051-8506 室蘭市茶津町2番地1	代表取締役社長 小野信市	0143-24-2744
		当社は、組立・溶接、圧延、鑄造の「ものづくり」を行うと共に、設計、工場設備のメンテナンス・機械装置類の設置工事、プラント建設の建築・土木等工事及び緑化工事を行っております。それらの業務分野において、信頼される技術、製品、サービスをお客様に提供することにより、社会の発展に貢献し、豊かな暮らしの実現を目指してまいります。 http://www.n-kouei.co.jp/		
33	日鉄住金セメント(株)	〒050-8510 室蘭市仲町64	代表取締役社長 吉村康嗣	0143-44-1693
		地球環境に優しい高炉セメントを始め各種セメントの他、特殊製品としてセメント系地盤固化材、地盤注入材、コンクリート補修材等の製造・販売を通じて社会に貢献しています。 http://www.ns-cement.nssmc.com		
34	日鉄住金 テクノロジー(株) 室蘭事業所	〒050-0087 室蘭市仲町12	執行役員 室蘭事業所長 樽井敏三	0143-47-2925
		鉄で培った豊かな技術とノウハウで、地球環境保全が注目される時代に相応しい技術を提供致します。主な業務分野は、1)成分分析、2)材料試験、3)環境アセスメント、4)省エネルギー診断で、お客様のニーズに迅速にお応えいたします。 http://www.ns-cement.nssmc.com		
35	日鉄住金 テックスエンジ(株) 室蘭支店	〒050-0087 室蘭市仲町12	執行役員支店長 森高常之	0143-44-1020
		http://www.tex.nssmc.com/		
36	(株)日本製鋼所 室蘭製作所	〒051-8505 室蘭市茶津町4	執行役員 室蘭製作所長 岩本隆志	0143-22-0411
		日本製鋼所は、その名の示すとおり「鋼づくり」が原点です。室蘭製鐵所は当社の発祥の地として明治40年(1907年)に創業を始めました。創業以来、長年にわたり培われた高度な技術を基礎に匠の技が創り出す優れた鋼は14,000トン鍛錬プレスに代表される世界最大級の各種生産設備により高品質の大型鑄鍛鋼品、鋼板、鋼管、圧力容器などの製品群となり、世界のエネルギー産業を支えています。また最近では再生可能エネルギーである風力発電事業、および水素ステーション向け鋼製蓄圧器などにも取り組んでいます。 http://www.jsw.co.jp/		

37	日本通運(株) 室蘭支店	〒051-0001 室蘭市御崎町1丁目35番地1	支店長 野村 聖	0143-22-1151 http://www.nittsu.co.jp/
38	(有)馬場機械製作所	〒050-0074 室蘭市中島町4丁目17番9号	代表取締役 馬場 義 充	0143-27-1251 弊社は主に切削加工を中心に検査用試験片、治具、試作品製作、など略図、仕様書を似て部品、製品を提供しています。
39	(株)光合金製作所	〒047-8686 小樽市港町6番1号	取締役会長 井上 一 郎	0134-32-1119 弊社は昭和二十二年の創業以来、寒冷地の快適な水環境の創造を企業理念に掲げ、寒冷地における不凍栓と関連機器の開発、製造、販売に取り組んでおります。 http://www.hikarigokin.co.jp/
40	(株)不動テトラ 北海道支店	〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3番地(北一条大和田ビル)	支店長 進 藤 信 博	011-233-1640 ①土木事業：陸上土木から海洋土木の幅広い分野において、社会インフラ施設の建設に携わっております。 ②地盤事業：業界ナンバーワンの地盤改良技術を持ち、幅広い地盤を強化して構造物を支えています。多くの自然災害において、効果を発揮し、構造物の安全を守っています。 ③ブロック環境事業：「テトラポット」に代表される消波根固ブロックを中心に型枠賃貸を行うとともに、水際線における様々な技術・設計サービスや、景観と生態系を守る製品の開発・販売を行っています。 http://www.fudotetra.co.jp/
41	(株)北央技研	〒050-0063 室蘭市港北町1丁目3番15号	代表取締役 吉 田 隆	0143-58-1122 各種金属材料の非破壊検査 http://www.hokuogiken.co.jp/
42	北海道ガス(株)	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1丁目3-1	技術開発研究所所長 山 岸 泰	011-590-7700 環境にやさしいクリーンエネルギーである天然ガスと、当社が有する積雪寒冷地向けの技術で開発した省エネシステムを融合し普及拡大することで、北海道の豊かな自然を守りつつ、快適さをお届けします。さらに、2016年度から電力事業にも参入し、北海道のエネルギーを支え、『地域のパイオニア』を目指します
43	北海道三祐(株)	〒002-0856 札幌市北区屯田6条8丁目9番12号	代表取締役社長 笹 浪 圭 吾	011-773-5121 1)一般土木事業、2)斜面崩壊防止事業、3)斜面緑化事業、4)パイプライン更正事業 自然環境の保全・創出並びに生活環境の整備事業に徹し“土と水と緑の調和を築く”をモットーに社会に貢献しております。 http://www.dosanyu.co.jp/
44	(株)北海道特殊鋳鋼	〒068-0111 岩見沢市栗沢町由良497-3	代表取締役 伊 藤 淳	0126-34-2501

45	北興工業(株)	〒051-0023 室蘭市入江町1-63	代表取締役社長 萩 宰	0143-23-0321
		弊社は昭和19年設立以来、海洋土木を中心に道路及び河川工事等の一般土木工事部門と快適な街づくりを目指す建築工事部門を有し、確かな技術と豊かな経験、創造力、更には品質と環境における国際規格の取得で、皆様のご信頼に応え、地域社会へ貢献する企業として邁進しています。 http://www.hokkoh-kogyo.co.jp/		
46	みぞぐち事業(株)	〒041-0824 函館市西桔梗町589番地44	代表取締役 溝口裕康	0138-48-0810
		コンクリート構造物の診断・補修専門集団です。 http://www.mizoguchi-jigyuu.com		
47	(株)村瀬鉄工所 札幌工場	〒007-0885 札幌市東区北丘珠5条4丁目4-55	取締役工場長 秋場勝行	011-791-1187
		明治40年創業で、現在はダクトイル異形管の専業メーカーとして口径75~800mmの耐震用を含む国内規格品、ISO規格及び規格外特殊異形管を、本社函館工場、札幌工場で製造。		
48	室蘭ガス(株)	〒050-0081 室蘭市日の出町2丁目44番1号	取締役社長 小林敏彦	0143-44-3156
		当社は環境優位性の高い天然ガス・LPガス販売の他に、ガス機器全般や快適な空間造りの為のガスを使った冷房・暖房などの設計、販売、修理を通して環境に優しく安心・安全で豊かな暮らしのお手伝いをさせていただいています。 http://www.murogas.co.jp/		
49	室蘭工業大学 生活協同組合	〒050-0071 室蘭市水元町36-8	専務理事 石橋直樹	0143-44-2994
50	医療法人五紀会 室蘭太平洋病院	〒050-0054 室蘭市白鳥台5丁目19番2号	理事長 伊藤真義	0143-59-2211
		http://taiheiyo.jp/		
51	(公財) 室蘭テクノセンター	〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号	理事長 栗林和徳	0143-45-1188
		室蘭地域の中小企業振興の中核的支援機関として、室蘭工業大学との連携を図り、ものづくり創出支援をはじめとする各種制度を活用した企業の技術力向上、新製品・新技術の開発、市場開拓などの支援事業を行っています。 http://www.murotech.or.jp/		
52	(株)メイセイ・ エンジニアリング	〒050-0074 室蘭市中島町3丁目11番2号	代表取締役社長 西潟勝	0143-43-8113
		1)橋梁の設計(予備・詳細・補修)、2)道路の設計(概略・予備・詳細)、3)港湾・漁港・海岸構造物の設計、4)一般構造物の設計(函渠・擁壁・法面工・雪崩予防施設・基礎工・その他道路付帯施設)、5)河川、水路等の構造物設計(排水・樋門等)、6)測量(基準点・水準・路線・用地等)、7)地質調査、8)環境調査、9)施工管理 http://www.mec-eng.co.jp/		

53	大和工業(株)	〒050-0085 室蘭市輪西町1丁目4番8号	代表取締役社長 黒龍雅英	0143-44-2664
		<p>弊社は昭和25年の創立以来、耐火物施工、鋼構造物施工等の業務を受注してまいりましたが、これと同時に大型窯炉設備の建設にも参加し、国内製鐵所の高炉、コークス炉等の建設に携わって参りました。今後も技術向上を進め客先のご要望にお応えする所存です。</p> <p style="text-align: right;">http://www.f-yamato.co.jp/</p>		

(54社中53社掲載)

5. 資料

2016年7月10日(日) 室蘭民報 朝刊15面



ものづくり

室苦連携へ一歩

3団体が合同研究会

室蘭の北のものづくり総合技術交流会(西野義人会長)、苦小牧圏の金型技術研究会(松本英久会長)など3団体合同研究会が8日、室蘭市内で開かれた。苦小牧の自動車産業に室蘭の金属加工技術が生きる可能性など、地域や業種を超えた連携に向けた新たな一歩として注目される。

参加は両団体と、室工大OBらでつくる日本機械学会北海道支部道南地区シニア会(杉山弘委員長)のメンバー合わせて約40人。苦小牧圏は自動車産業が集積するが、生産ラインの金型部品は道外発注が多く、金型技術研究会が道内

室蘭と苦小牧の新たな連携の一歩となった3団体合同研究会

で請け負えないかを模索している。室蘭には機械加工や修理、表面処理、金型部品製作の技術を持つ企業があり、新たな連携に向け開催した。室工大元教授で苦小牧市テクノセンターの桃野正館長が幹事を務めた。

一行は東町の馬場機械製作所と、中島本町の西野製作所を訪問した。桃野館長は「異業種の技術交流の仲立ちをしたい」と提案。今後連携を継続し、自動車産業や農業機械分野の事業を進める考えを示した。

室蘭を代表し西野会長は「ものづくり分野の地産地消のような取り組みにしたい」と期待を込めた。参加したトヨタ自動車北海道の犬塚昌彦常勤監査役は「北海道のものづくりを高め元気にしたい。金型製品に関連する事業は本州に頼らず東北、北海道地域の企業の連携でできればと考えている。協調と競争で札幌、苦小牧を含め、いいとこ取りしたい」と語った。次回は今秋、苦小牧市で開く予定。

(粟島暁浩)

室蘭市「水素」 札幌でPRへ

21日テクノフェア

【札幌】北洋銀行(石井純三頭取)は21日、恒例の



「ものづくりテクノフェア」を、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催する。室蘭、胆振管内をはじめ、道内外のものづくり企業が出展。室蘭市所有の燃料電池自動車「MIRAI」や移動式水素ステーションも展示される。

同フェアは「北海道のものづくり産業の振興促進」をテーマに、地域の中小企業や大学、支援機関が一堂に会する東日本最大級の商談会。10周年を迎える今回は道内外から過去最大の228企業・団体が参加する。

胆振総合振興局のブースには三好製作所(室蘭市)など管

「ものづくりテクノフェア」に展示される室蘭市の燃料電池自動車と移動式水素ステーション

内8社が合同出展。このほか室蘭市から佐々木機工や日本システムデザイン、室蘭工業大学などもブースを構える予定だ。(北川誠)

ものづくり228社出展

室蘭市の水素ステーションも展示

札幌でフェア

【札幌】北洋銀行が主催する東日本最大級のものづくり企業展示・商談会「ものづくりテクノフェア2016」が21日、札幌市白石区のアクセスサポロで開催された。10周年の節目となった。



多くの企業関係者から関心を集めていた室蘭市のFCVと水素ステーション

「札幌」北洋銀行が主催する東日本最大級のものづくり企業展示・商談会「ものづくりテクノフェア2016」が21日、札幌市白石区のアクセスサポロで開催された。10周年の節目となった。

来月に室蘭市内で開催される夏休み科学館祭やスワンフェスタでの試乗会や展示を予定している。

胆振総合振興局のブースには胆振の8企業が出展。三好製作所（室蘭市）は、テープの端を折り返す新作テープカッター「くるつとロール」を出品した。魚戸一樹室蘭工場長は「これまで弁当箱や電子部品などは手掛けてきたが、文具関係は初めて。今後さまざまなつながりを大切にしたい」と意気込む。

カムイ電子（登別市）は認知症リハビリ支援システム「ステップアイ」を用意。内山英義代表取締役は「大学教授の助言を受け製作した。医療機関や地方自治体、老健施設などでの活用を検討している」と語る。北海道曹達（同）は釧路水産試験場と共同研究しているウニ殻を活用した水槽のろ過材を出品した。境勝義企画・管理本部研究開発部部長は「陸上養殖時の海水循環材として活用できるような研究を進める」と自信を口にした。

（北川誠）

室工大地域共同研究開発センターで
始まった胆振次世代革新塾



強い組織づくり学ぶ

胆振次世代革新塾スタート

地域の人材育成と交流の場・胆振次世代革新塾（塾長・西野義人西野製作所代表取締役）が21日夜、室蘭市水元町の室工大地域共同研究開発センターで始まった。会社員ら23人が11月まで8回の講義を通し、会社などを強い組織に変える思考を学ぶ。

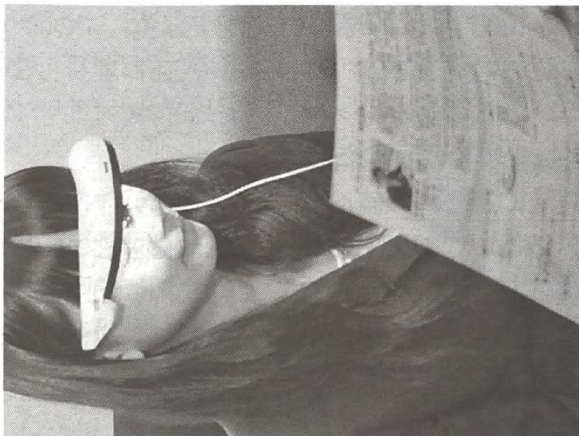
塾生は31〜55歳。西野塾長は「昨年は問題解決力を養い、今回は自ら強い組織に変えるための力を学ぶ。疑問があれば声に出してほしい」と呼び掛けた。

初回の講座では、法政大の中島ゆき客員研究員が講話。会話を交わさずメモの

交換だけでパズルを組み合わせた日本地図を作るゲームでは、7人組で個々に断片情報を与えられ「まず目的を把握したい」「全員に回して」など手探りで情報を共有。発表では、全員で共有できていない情報が見つかり、何に問題があったか、どうすれば良かったかを検証。組織で役立つ課題解決の思考を学んでいた。

同塾は室蘭テクノセンター、室蘭信用金庫、室蘭大市経済部の実務担当者による企業活性化チーム・学官金室蘭が、次世代の人材育成に向け事務局を担い開催している。（粟島暁浩）

◆あす「日本刀を科学する」
講座 日本刀を製作技術や現代科学の視点から解説する公開講座「日本刀を科学する」が23日午後3時半から室蘭工大で開かれる。日本機械学会道支部シニア会の主催で、同会会員による公開講座の一環。今回は室蘭工大の臺丸谷政志教授が講師を務め、日本刀の美術工芸品としての美しさや仕組み、特性などを解説する。高校生以上が対象。申し込み不要で無料。直接会場へ。講座に関する問い合わせは石坂さん ☎090・8428・7755へ。



電制が室工大と共同開発した「ルーチエグラス」。装着しても視界は妨げられない

睡眠障害メガネ型治療器 電制と室工大が共同開発

【江別】電力制御装置メーカーの電制(江別、田上寛社長)は、網膜に光を当て、体内時計を調整する装着型の睡眠障害治療器を室蘭工業大と共同開発した。晴天時の室内と同じ明るさとなる1万ルクスの光を出し、起床時に30分ほど装着すると、眠気を誘発するメラトニンの分泌を抑えられるという。10月3日に医療機関向けに発売し、初年度は400台の販売を目指す。

新開発の「ルーチエグラス」は、メガネのような作りで、紫外線を出さない発光ダイオード(LED)のライトが、視界の上部からまぶたに向けて光を照射する仕組み。重さ70グラムと軽い上に、ライトを照射しても視界は妨げられず、本を読んだり、パソコンで作業したりできる。

光照射装置の研究を進めていた室工大が2011年に、電制に対し製品化を依頼。電制が開発と生産を、室工大が安全性の確認など臨床試験を担当した。メーカー希望小売価格は2万7千円(税別)。時差ボケの解消にも効果的で、一般向けの販売も検討している。

水素関連部品 開発広がる

室工大や地元・本州企業連携



室蘭市が導入した燃料電池自動車と移動式水素ステーション

本県工業界の関連産業を広くもち、室蘭市が3月、道庁の自治体で初めて水素を使った燃料電池車（FCEV）を導入したことで、市内の企業などに水素関連部品の開発に着手する動きが広がってきた。国などの補助金を活用して水素のシステムで用いる部品の長寿命化を目指し、期待されている。

(室蘭市記者)

開発に向け動き出したのは室蘭工大と、旋盤加工の永谷機械（東町）、機械組立の佐々木機工（同）、部品製造のトリアス（大森町）。4社で作業グループを結成し、プロジェクトは本年度の室蘭テクノセンターの「ものづくり創出推進事業（上限100万円）」に採択された。車に水素を補給する際、水素を送るホースと排気口の接合部に用いる金鳳製部品の開発を目指す。新日本製鉄が独自に開発した特殊金鳳を使うことで従来の樹脂製よりも軽量化し、高圧水素への耐久性能も優れたものにする。

国など補助受け 長寿命化目指す

その特殊金鳳を使ったホースの開発を目指して、このほか「センター」トリアス、室蘭工大の若手技術者も参加。経済産業省の本年度の「戦略的基礎技術高度化支援事業」に選ばれた。事業期間は5年、事業費総額は1億5千万円。3分の2が国から補助される。トリアスはホースを製造するための成型機を設計し、テクノセンター内に設置して研究開発する。このほか、水素関連の部品製造に向けた「燃料セル」を市内の企業などとの連携も進められている。室蘭市は「べんとう」ならぬFCEV試乗会を開催し、市民周知に力を入れてきたが、地元企業への広がりも顕著だった。テクノセンターの主任室井俊一は「特殊金鳳を使った部品開発は全国でも珍しい。室蘭の技術者を全国に発信したい」と話している。

プラ・金属に再資源化 進む改良



産廃選別機 全国区に

【登別】産業廃棄物処理業「アール・アンド・イー」（北山茂一社長）は、廃棄物から有用な金属やプラスチックなどを取り出す選別機「リタック」シリーズの新型を開発した。選別機はリサイクルを後押し

しするもので、北大と共同開発し、室蘭の金属加工業など地元14社が技術協力。全国から関心が集まっており、同社は「室蘭を代表する製品にしたい」と力を入れている。
(芝垣なの香)

「室蘭代表する製品に」

▲プラスチックや金属などの選別機「リタック シグ」の新型

水槽にプラスチックやガラス、金属などが交ざった素材と水を入れて振動させ、わずかな比重の違いを利用して層に分ける仕組み。磁力や風力を用いた選別機があるが、こうした構造は全国でも珍しいという。

10月末に完成した新型は、選別した素材の水気を切り、自動で収容できるようにした。旧型より作業効率が6倍アップした。価格は500万〜5千万円。11月から順次全国へ出荷する。

選別機の開発には、設計、商社、金属加工業など地元企業14社が協力している。完全受注生産で、全国のリサイクル業者や電気機器メーカーなどからの注文に応じ、直接企業を訪問。どのような素材を選別したいのかといった要望を聞き、それにあった大きさや設備の商品を製作している。

「シグ」シリーズは、3年ほど前から本格的に生産を始め、これまで関東や四国などに10台を出荷。今春以降、20件近い問い合わせが寄せられている。卵の殻を使った化粧品開発を目指すメーカーや種苗会社などからの相談もあり、同社は「こちらが想定していなかった使われ方が広がっている」と驚いている。

同社は10、11の両日、札幌市で開かれる道内最大級の展示会「ビジネスEXPO」に出展し、商品を紹介する。

村上孝志シグ担当部長は「使えるものはリサイクルし、埋めるものは極力減らす」という流れがある。地元企業の知恵を集めて作った製品を広く知ってもらいたい」と話している。

札幌であす開幕のビジネスEXPO

室蘭から9社出展

自社製品やPR
技術を

札幌市のアクセスサッポロで10、11日に開かれる道内最大級のビジネスイベント・北海道技術ビジネス交流会(ビジネスEXPO)

関連の展示会に、室蘭地域から9社が出展。自社製品と技術をアピールする。

出展するのはアール・アンド・イー、アイスジャパン、佐々木機工、サンパッ

クス、三好製作所室蘭工場、中間貯蔵・環境安全事業北海道PCB処理事業所の6社と、キメラ、第一鉄鋼、日本製鋼所。

室蘭テクノセンターによると、アール・アンド・イーは廃棄物を高精度で選別し資源を回収できるリタック・ジグを展示。サンパックスは開発している光熱費



実質ゼロの省エネ住宅について、実験住宅を使った2年間の研究成果を発表する予定で、各社が自社製品の利点などを伝える。

製造業で活躍する女性が仕事ぶりを伝える「ものづくりなでしこゾーン」が今年も開設され、キメラと第一鉄鋼が参加。女性社員らがアピールする。

北海道水素イノベーション展も同時開催され、日本製鋼所は自社製の水素吸蔵合金などをパネルなどでアピール。室蘭市の燃料電池車(FCV)と移動式水素

ステーションも展示する。
(栗島暁浩)

室蘭の技術力PR

幌

ビジネスEXPO始まる

札

【札幌】道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO」(同業行委員会主催)と関連展示会が10日から札幌市白石区のアクセスサポロで始まった。30回目を迎える今回は354の企業・団体が出展。室蘭テクノセンターがブースを構えたほか、室蘭市内から多くの企業や団体がものづくりの技術をPRしてい

る。きよまつ山日まで。テクノセンターのブースには佐々木機工と三好製作所、アイズジャパン、サンボックス、アール・アンド・イーの5企業が出展。初参加のサンボックスは太陽熱を活用した省エネ住宅を紹介。泉澤高光取締役会長は「断熱性を高め、エネルギーを大量消費する北海道型住宅の問題点をカバーし



室蘭で築き上げた技術力を広くPRしたビジネスEXPO

たと胸を張る。アール・アンド・イーは「廃棄物から資源を選別回収する「リタック」を出品。村上孝志ジグ担当部長は「飼料メーカーは種子の分別に使用。石炭やコンクリート廃材、ペットボトルの分別など、想定以上の使い方があり需

要を拡大している」と笑顔を浮かべた。

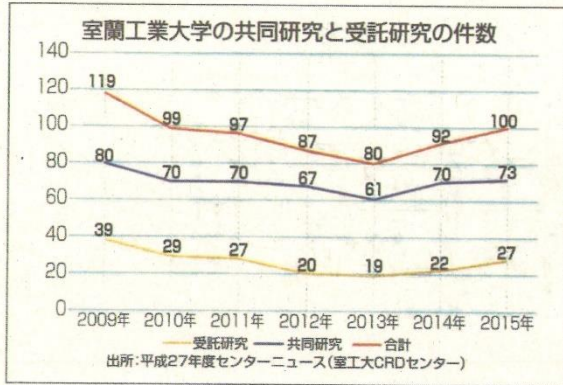
同時開催の北海道水素イノベーション展には日本製鋼所が出展。水素吸蔵合金を用いた貯蔵タンクや大型タンクの模型を展示した。現在、台湾のメーカーと燃料電池スクーターの開発を進めているという。室蘭研究所システム技術グループの河原崎芳徳担当課長は「吸蔵合金は、液体貯蔵に比べコンパクトで安全」とPRした。

このほか中間貯蔵・環境安全事業北海道PCB処理事業所も出展。前回に引き続き設置された「ものづくりなでしごゾーン」には、精密金型部品加工のキエウと鋼材検査・調整の第二鉄鋼が参加。室蘭工業大学は「学術・試験研究機関展示ゾーン」で理系女子応援プロジェクトを紹介した。

(北川誠)

共同研究で地域貢献

室工大 15年度は73件



「地域貢献」をテーマにさまざまな取り組みを行う室蘭工業大学(空閑良壽学長)。三笠市の未利用の石炭層の活用など、道内の企業や行政との共同研究などを積極的に進めている。背景には大学の予算の減少がある。既存の研究だけではなく、学生の研究先企業との共同研究などに踏み出したいと考えた。

(池田勇人)

●石炭層の活用

同大地域共同研究開発センター(CRDセンター)によると、2015年度平成27年度の共同研究と受託研究の件数は、14年度比8件増の100件。このうちサケ・マスの回帰率の向上

ち、共同研究は同3件増の73件だった。同大が企業や行政へのPRを重ねた結果だという。

同大の主な共同研究は、未利用の石炭層の活用(石炭地下ガス化)をはじめ、サケ・マスの回帰率の向上

月曜レポート

白糠産のシロから認知症の予防や治療に効果的な成分を抽出して使用する「などがある。

例えば、板倉賢一教授らは、石炭地下ガス化は未利用の石炭層を直接燃やし、発生するガスからメタンガスなどを取り出して利用する。三笠市と連携して実用化を目指している。

また、岸上順一教授が行うサケ・マスの回帰率を調べる研究では、人工知能やビッグデータを使い、サケ・マスの回遊ルートを調べ、故郷の川に帰ってくる確率が最も上がる条件を探す。同大は2015年(平成27年)に北海道総合研究機構と研究協定を調印。低下している回帰率の向上が目的で、将来的にはデータをリアルタイムに収集し、最適な条件を提供したいとしている。

●交付金ダウン

背景には文部科学省の国立大学法人運営費交付金の減少がある。12年度には27億6903万円あった交付金は、16年度には26億14

00万円にまで減少。1億5千万円ほど削減されている。同大CRDセンター長の河合秀樹副学長は「大学の予算は減っているが、国全体で地方創生が求められている。教育と研究での貢献が求められている。共同研究では企業側が研究費を負担するため大学側に経済的なメリットがあり、文部科学省だけではなく、産業界分野によって経済産業省などからの研究費も見込める。

●多方面に効果

そのため、学生が企業とともに課題の解決策を模索する取り組みを推進している。博士前期課程1年の異なる専門分野の学生が2人1組でペアになり、1、2カ月の長期間、企業で研究や業務に従事。次年度の学生にも内容を引き継ぐ。

学生が業務内容を理解すると同時に企業と大学に接点が生まれる。もし、学生が研修先に就職した場合、引き続き同じ内容の研究を

続けられる可能性がある。大学教員や学生が企業が抱える課題を知ると同時に、地産地消や産学官の連携、共同研究の拡大につなげられる。

「この取り組みで企業側が積み残していた課題の解決に学生が取り組み、大学を核に新たな共同研究の芽

も出てくると思う」と河合副学長は研究と教育、地域貢献と多方面への効果を期待していた。

寒冷地EV2号車完成

室蘭・西野製作所 開発に参画



昨年1月の札幌モーターショーに出展された寒冷地仕様EV1号車と、開発に携わる西野社長

来春発売目指す

西野製作所(室蘭)など道内中小企業8社のチームで開発している寒冷地仕様の電気自動車(EV)・バイクの2号車が完成し、来春にも発売が検討されている。きょう2日と3日に愛知県で開かれる自動車関連技術展示商談会に出展、会場で披露される予定で、道内の技術力をアピールする。(栗島暁浩)

寒冷地EVの開発は2013年度(平成25年度)にこのほど完成。愛知での展示会参加、評価試験を経て備機が支障し、道内中小企業が連携して1号車を試作。昨年1月の札幌モーターショーで披露した。ペー

「1号車は夢を形にしたも当初から西野製作所は開発に参画。機械加工分野で主に駆動系のギアなどを担当してきた。モーターはスモメカニクス(旭川)、ボディー製作は幼稚園バスなどのデザインを担う会社と、異業種が月1回程度札幌で集い検討を重ねる。2号車は実際に販売する

の。2号車はビジネスに近づけようと考えており、買いたいと思ってもらえる価格に近づけた」と100万円以下を目指す。寒冷地のEVだけに、暖房や雪道の動力性能向上は、電力が消耗し走行距離が短くなることに直結する。「室内全体の暖房では

きょうから愛知で展示商談会

なくシートとハンドルをヒーターで暖め、室内の熱を逃がしにくくする」など節電を重視。「売る以上は安全でなければならぬ」と知恵をひねる。

「初期コストだけを低くして全体のコストを抑える。」「初期コストだけでなく維持費を含め魅力的なものを提供することが重要」と説く。

西野製作所に昨年1号車が運び込まれた際、社員が総出で出迎え沸いた。西野社長は「こちらは機械加工屋。普段の仕事では最終製品として形になることがない。事業に関わって目に見える形になり社員のモチベーションも高まる」と語る。事業は4号車試作まで想定している。今後は四輪駆動車も考えたい」と意欲を見せている。



室蘭工業大学
地域共同研究開発センター
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号
URL <http://www.muroran-it.ac.jp/crd/>
E-mail: crd@mmm.muroran-it.ac.jp
TEL. (0143) 46-5860
FAX. (0143) 46-5879